

平成31年2月25日

甲斐市議会議長 長谷部集様

創政甲斐クラブ 会長 内藤 久歳

視察研修報告書

- 1 日 程 平成30年11月5日(月)～7日(水)
- 2 場 所 北海道旭川市 北海道石狩郡当別町 日本航空学園新千歳空港キャンパス
- 3 参加者 藤原 正夫 内藤 久歳 山本 英俊 長谷部 集(4名)
- 4 欠席者 赤澤 厚(1名)

【研修先概要】

1 北海道旭川市

旭川市は北海道の中央・上川地方のほぼ中央に位置し、雄大な大雪山連峰に抱かれた石狩川と多くの支流が合流した肥沃な盆地。年間の寒暖差、昼夜の寒暖差がともに大きく、四季が明瞭で冷涼な気候が特徴。1902年には日本の最低気温氷点下41.0度を記録。

○面積 747.66平方キロメートル

○人口 337,807人

○世帯数 177,949世帯 (平成30年11月現在)

2 北海道石狩郡当別町

当別町は札幌市の北東に隣接し、札幌都心部からは45分程度の近距離に位置している。苦難の開拓の歴史を背景に農業が盛んで管内有数の米の生産量を誇っている。また切り花の生産が盛んで、道内屈指の生産額となっている。近年は風景が酷似しているといわれるスウェーデン王国・レクサンド市との姉妹都市提携をメインとした積極的な国際交流の町として飛躍が期待されている。

○面積 422.86平方キロメートル

○人口 16,120人

○世帯数 7,665世帯 (平成30年11月現在)

3 学校法人日本航空学園新千歳空港キャンパス

日本航空学園新千歳空港キャンパスは新千歳空港の西側に隣接する広大な敷地を持つキャンパス。自然に囲まれた緑豊かなキャンパスでは、豊富な実習機材を使った本物の航空教育を学べる環境が整っている。

- 日本航空専門学校 ・航空整備科……………一等航空整備士 養成コース
二等航空整備士コース
二等航空運航整備士コース
技術コース
- ・空港技術科
- ・国際航空ビジネス科……エアラインコース
エアライン・留学コース

- 日本航空高等学校【通信制課程】

【研修報告】

1 北海道旭川市 企業誘致の研修

□研修目的 企業誘致の取組について

□研修日時 平成30年11月5日（月）午後1時30分～午後3時

□研修場所 北海道旭川市 旭川市役所

□研修概要 旭山動物園や大雪山連邦など観光が目立つ旭川では、全国に先駆けて企業誘致の先進的取り組みを行っている。全国の企業が旭川を選ぶ真相について研修した。

■研修内容 ○旭川市企業誘致の強み

・交通網の利便性

北海道のほぼ中心部に位置しているが交通網の便が非常に良い。1日7往復の東京便をはじめ、名古屋、大阪、さらには中国、台湾、韓国便もあり、豪雪地帯ではあるが雪害対策がしっかりしていることに加え、台風がほとんどないので、空港の就航率は99.8%と非常に高い。

また、鉄道では札幌への特急が30分おきにでており、1時間30分ほどで行ける。高速道路もありICや鉄道の貨物駅もあるため、物流の拠点には最適である。

・非常に低い災害リスク

冬場の雪の影響があるように思われるが、雪害対策が非常にしっかりしており、除雪が行き届いているため、道路や鉄道がマヒするようなこと

はほとんどない。

また、政府の地震調査研究推進本部の発表では、今後30年間の震度6以上の大地震発生確率はわずか0.38%しかなく、あらゆる面で災害リスクの低い地域環境となっている。

・豊富で質の高い人材

旭川人の特徴が「まじめでこつこつ」であることから、離職率が非常に低く、人材難が課題の企業にとっては非常に優位である。研修への姿勢もよく覚えが早いと誘致企業からの評判も得ている。

言葉の面においても、旭川はなまりがあまりなく、コールセンターオペレーション業務などには非常に向いている。

○優遇制度の充実

課税の免除や多種助成金の交付など、旭川市内で工場等の新設・増設をする場合に優遇措置を受けることができる。いくつかの要件はあるが、非常に低い設定となっている。

○行政の仲介

新たな工業団地の設置を行うなど、企業が立地しやすい環境を整備している。また、候補地の選定、優遇制度の説明、市内業者の紹介、人材確保、そして操業開始に至るまで、企業ごとの状況に応じて市職員によるきめ細かな協力を行っている。

■感想 旭川市の状況は、交通環境や災害リスクなど、甲斐市の環境でも似ていることが多く見受けられた。東京からのアクセスにおいては、東京都心から1時間30分であり、甲斐市は旭川より好条件であると言える。

甲斐市にも工業団地はあるが、企業誘致事業にはあまり力を注いでいるものではないので、今後の行政運営には非常に大切なものになると考える。また近年では、ルネサス甲府の撤退により、大きな収入減に落ち込んでいる現在、一日でも早い企業誘致の新たな施策が求められている。

今回の研修を参考にし、また全国の他自治体の先進事例も更に情報収集を行い、甲斐市の新たな方向性を検討する必要があると考える。



創政甲斐クラブ内藤会長挨拶



創政甲斐クラブ内藤会長挨拶



旭川市議会林事務局長挨拶



研修資料



研修資料



説明する企業立地課職員



説明する企業立地課職員



研修会場風景



研修会場風景



議場



庁舎玄関前



庁舎

2 北海道石狩郡当別町 小中一貫教育の研修

□研修目的 企業誘致の取組について

□研修日時 平成30年11月6日(火) 午後1時30分～午後3時

□研修場所 北海道石狩郡当別町 当別町役場

■研修内容 ○小中一貫教育に関する取組基本方針

一体型による一貫教育を基本とするが、一体型一貫校の設置については当面の間、現在設置されている小学校と中学校の連携により、義務教育9年間を見据えた継続性のある、分離型での一貫した教育を実現しようとする。

○当別町の小中一貫教育

・小中の教員が一体となった指導を行う。

全小中学校での小中一貫教育の実施、義務教育9年間を連続した教育の編成、児童生徒や教職員の交流

- ・ 地域の特徴を活かした教科の導入
- ・ 学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

○小中一貫教育のメリット

- ・ 全ての子どもに確かな学力が身に付く
- ・ 中一ギャップの緩和
- ・ 教員の小中間交流による指導・意識の改善

○小中の校舎離れているが、小学生の中学校登校や、乗り入れ授業により距離が離れていてもできることから実施している。

○町外との転校においては、教育内容に大きな差異が生じないように取り組んでいるので、町外から転入や町外へ転居する場合でも困ることは無い。

○これまでのところ大きな課題は出ておらず、ある程度の成果も認められているので、今後は新たな校舎の建設計画を進め、平成 33 年度を目標に開校する予定である。

■感想 現在の甲斐市では教育施設の長寿命化計画などが策定中である。今後はその計画に基づき校舎等の改修計画を立てていくと思われる。

小中一貫教育のメリットについては全国的にも大いに期待がされているものであり、市内の一部地域限定でも可能だと考えられるため、モデルケースとして取り入れられないものか真剣に検討する必要がある。

当別町のケースは人口の減少や児童生徒の減少に伴う、学校施設の統廃合という観点からの一貫教育実施背景がある。さらに深く検証を進めるためには、甲斐市の児童生徒数と同規模のケースや、都市部のケースも調査研究する必要があると考える。



司会する野村議会事務局長



当別町議会後藤議長挨拶



研修資料



説明する学校教育課職員



研修会場風景



研修会場風景



議場



庁舎玄関前



当別町内スウェーデン風町並み

3 日本航空学園新千歳空港キャンパス視察研修

- 研修目的 日本航空学園新千歳空港キャンパスの現状について
- 研修日時 平成30年11月7日（月）午前10時～午後12時
- 研修場所 北海道千歳市 日本航空学園新千歳空港キャンパス
- 研修概要 甲斐市双葉地内に本部を置く、日本航空学園が昭和63年に設置した新千歳空港キャンパスの就学状況、就職状況、地域連携体制などについて、現地視察及び研修を受ける。

■研修内容 ○日本航空専門学校の沿革

- 1932年 甲府在郷軍人航空研究会を母体に航空発動機練習所開設
- 1933年 山梨県中巨摩郡玉幡村に40万平方メートルの飛行場を開設
- 1939年 山梨航空技術学校設立認可
- 1960年 学校法人梅沢学園、山梨航空工業高等学校の設置認可
- 1964年 学校法人日本航空学園、日本航空工業高等学校と改称
- 1970年 日本航空専門学校設置認可
- 1974年 日本航空大学校と改称
- 1988年 日本航空学園千歳校（専修学校専門課程）開校
- 1992年 日本航空大学校の航空整備科、航空電子科、メカトロニクス科を日本航空学園千歳校と統合
- 1994年 日本航空学園千歳校を日本航空専門学校と改称
- 2001年 航空整備科を3年制に改編、航空工学科開設
- 2002年 航空システム科を新設、航空工学科を航空技術工学科に改称
- 2003年 白老町に日本航空専門学校白老校開設
空港技術科パッセンジャーサービスコース開設
- 2006年 白老校に空港技術科航空観光ビジネスコースを開設
- 2009年 航空技術工学科を航空整備科に統合
- 2011年 国際航空ビジネス科改編

っかりとされていることである。航空網が充実している北海道ならではの社会環境に根を下ろし、卒業後は即戦力として航空業界で活躍できる人材を育て、就職率は100%とその存在意義を証明している。航空に関してだけでなく、地域との交流も盛んに行い、多種多様な人たちとの触れ合いの中から、コミュニケーション能力の向上を図っている。そのため、地元住民の理解はあり、それらの活動においても好評を得ているということである。

今後の日本航空学園とのあり方を考える際には、今回の研修は非常に参考となり、甲斐市内での日本航空学園の役割とその存在の重要性を改めて認識しなければならない。日本航空学園は甲斐市に無くてはならないものであると感じた。



千歳キャンパス



施設内視察



施設内視察



施設内視察



施設内視察



就職内定者張出



キャビントレーニングセンター内



キャビントレーニングセンター内



キャビントレーニングセンター内



キャビントレーニングセンター前



管理棟玄関前



創立者梅澤氏銅像